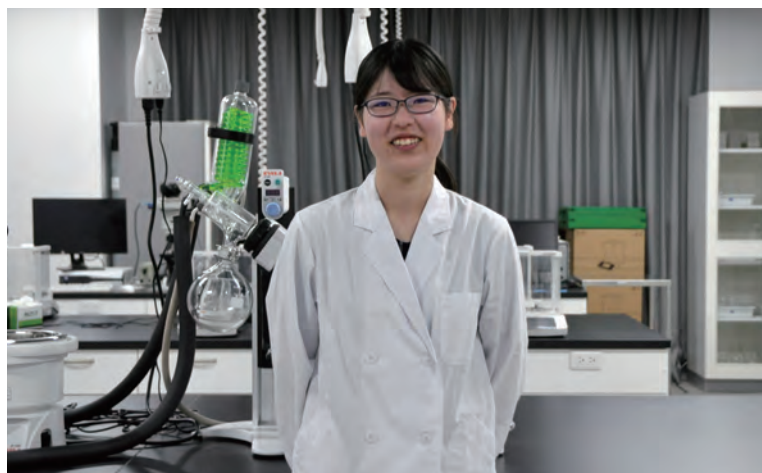


在学が  
語る

# 日本工業大学 応用化学科の魅力

※掲載内容は2022年5月時点の情報です。



2年 Y.Y.さん(埼玉県立大宮工業高等学校 出身)

## Q. 1年生ではどんな実験があるの？

合成実験や分析実験など、さまざまなテーマの実験を通して、薬品や器具の取り扱いを基本から学びます。講義で学んだ知識を活かして、試薬を調製したり、実験データを取り、考察を深めていきます。化学実験は久しぶりなので最初は戸惑いますが、どんどん実験が上手になっていきます。初めて書くレポートも丁寧に教えてもらえますよ。

「化学実験」では  
こんな実験に取り組みます！

アスピリンの合成



ナイロン・吸水ポリマーの合成

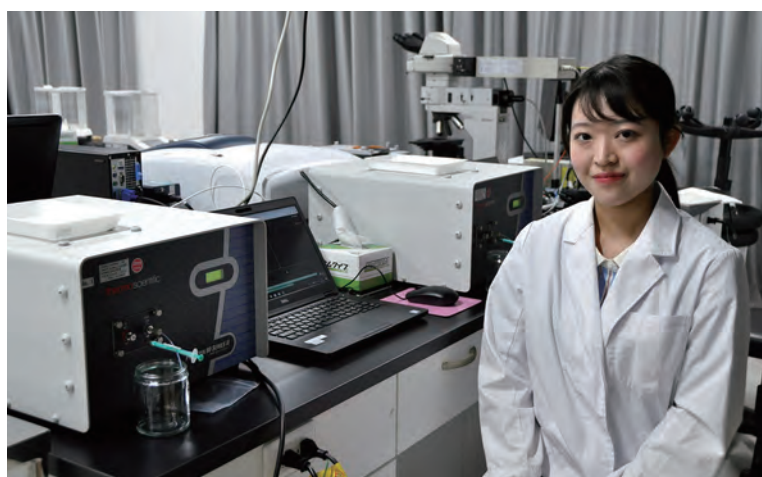


「応用化学実験」では  
こんな実験に取り組みます！

人工甘味料の合成と構造解析



光触媒反応



3年 R.I.さん(東京都立青井高等学校 出身)

## Q. 2年生ではどんな実験があるの？

1年生の時よりも高度な実験です。失敗することもあります。最後までやり遂げました。有機合成反応から構造解析、元素分析、触媒反応や電池の評価試験など、幅広い実験に取り組みます。2年生になって増える専門科目の授業で習ったことと、実際に自分たちで実験したことの繋がりが解るようになると化学がもっと楽しくなります。



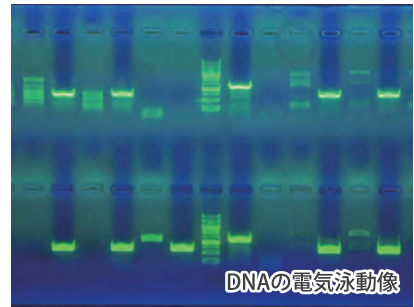
3年 S.A. さん(東京都立足立高等学校 出身)

**Q. 専門科目で印象に残っている科目は?**

1年生では「分子生物学」です。細胞内部の構造、分子の働きなど、一つひとつ理解が進んでいく実感ができました。細胞で起こる反応を学ぶことで、より化学に興味を持ちました。2年生では「機器分析化学」です。高度な測定技術を支える理論や現象は、とても興味深いです。この科目がきっかけで、実験データの解析や、ものの方の大切さを学びました。

講義Pick Up

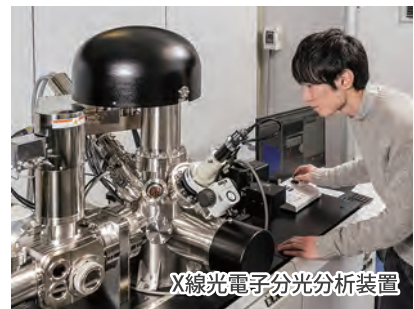
分子生物学



DNAの電気泳動像

細胞を作る分子の構造と機能を学びます。

機器分析化学



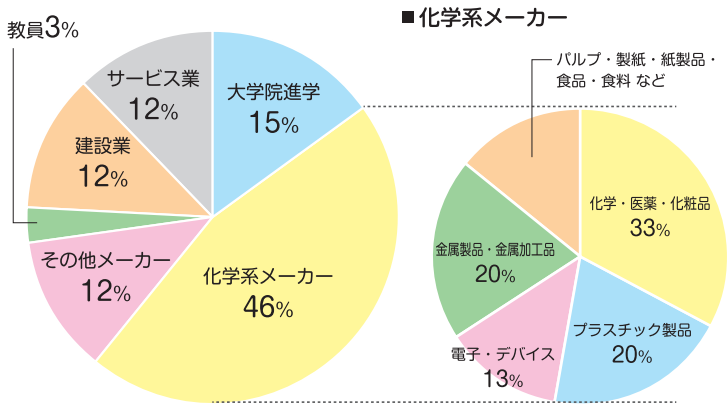
X線光電子分光分析装置

分析装置の原理や分析事例などを学びます。

Topic

**将来の進路** 化学系メーカーを中心に幅広い業種で活躍しています!

日本工業大学では就職支援課が就職活動を丁寧にサポートします。各種情報誌の「就職支援に熱心な大学」として、ランキング上位に入っています。卒業生の活躍も高く評価され、「採用を増やしたい大学」としてもランキング上位に入りました。大学院進学については学科教員が丁寧にサポートします。主な進学先は、日本工業大学大学院工学研究科です。



**主な就職先 (2021年度卒業生の実績)**

相田化学工業、イケダガラス、金属被膜研究所、ケミコート、コスモビューティー、三益半導体工業、積水化成工業、東洋インキSCホールディングス、トモエ乳業、日触テクノファインケミカル、日本ドライケミカル、フロロコート、陽進堂(医薬品メーカー)、吉田プラ工業 ほか

**日本工業大学**

〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1  
 ☎0120-250-267(入試室)  
<https://www.nit.ac.jp>



▲大学ホームページ



▲応用化学科の紹介

